

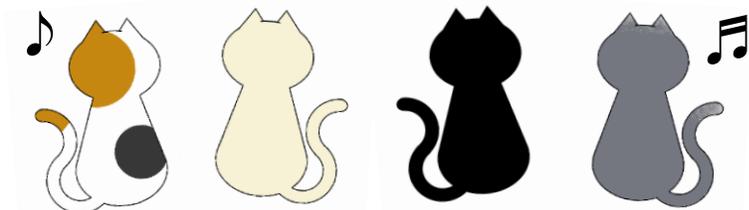
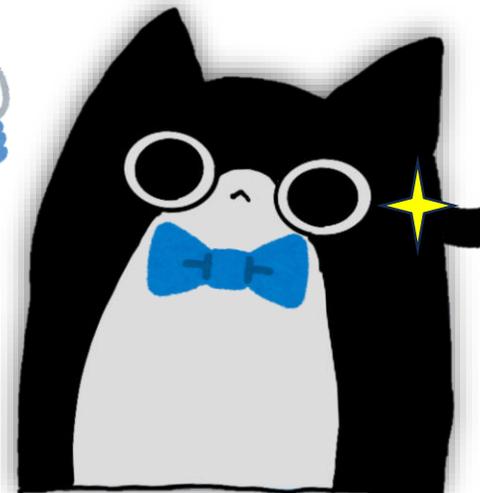
ねこ・どこ・しらべ隊！

アンケート調査結果



豊中市保健所

保健安全課



【アンケート概要】

- (1) 内容：地域で見かける猫の情報、猫の増減に関する実感、TNR活動の認知度等
- (2) 対象者：市民等（豊中市に通学や通勤している人を含む）
- (3) 実施期間：令和7年10月31日から令和7年11月30日まで
- (4) 実施方法：市公式LINEリサーチ機能
- (5) 周知方法：市公式LINE、市ホームページ、チラシ
- (6) 回答数：711件

【結果】

Q1 猫を見かける地域を1か所教えて下さい（見かけない場合は「見かけない」、見かける場合は「〇〇町×丁目」まで記載して下さい）

- ・約8割の方が猫を見かけると回答しており、前回（R6年度）とほぼ同じ割合でした。

(R7)

選択肢	回答数	割合(%)
見かける	576	81
見かけない	135	19
合計	711	100

(参考：R6)

選択肢	回答数	割合(%)
見かける	667	82
見かけない	149	18
合計	816	100

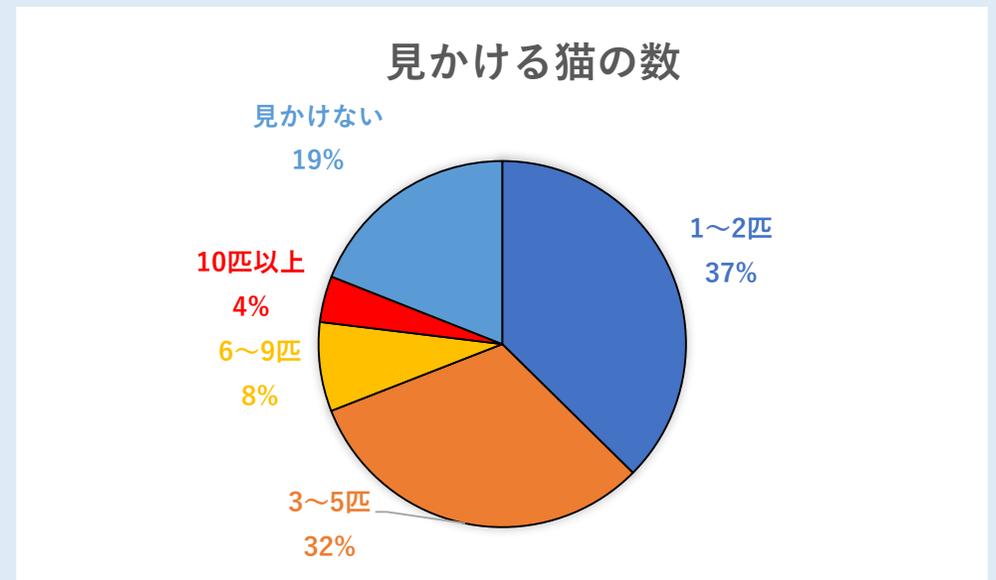
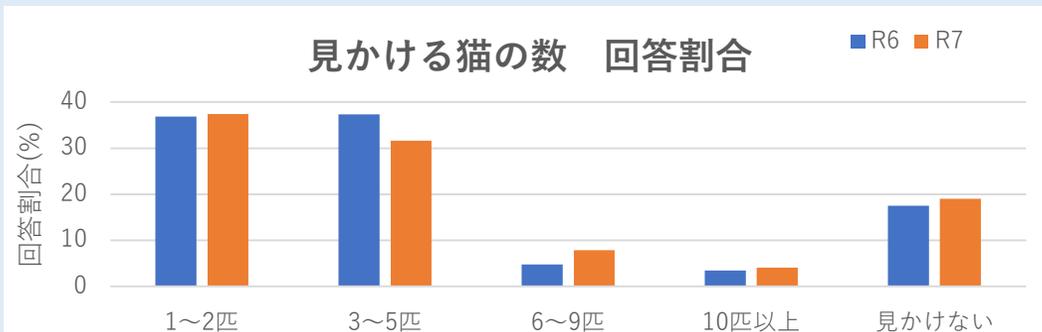
- ・目撃情報が10件以上寄せられた地域（町丁別）が10か所ありました。
- ・一方で、全く目撃情報が寄せられない地域も多数ありました。

【結果】

Q2 Q1で回答した地域で見かける猫の数を教えてください

- ・「1～2匹」と回答した人が最も多く、全体の37%（266人）で前回と有意な差はありませんでした。
- ・「3～5匹」と回答した人は次に多く、全体の32%（225人）で、前回より有意に減少しました。
- ・「6～9匹」と回答した人は、全体の8%（56人）で、前回より有意に増加しました。
- ・「10匹以上」と回答した人は、全体の4%（29人）で前回と有意な差はありませんでした。

R7	1～2匹	3～5匹	6～9匹	10匹以上	見かけない	合計
回答数	266	225	56	29	135	711
割合(%)	37	32	8	4	19	100

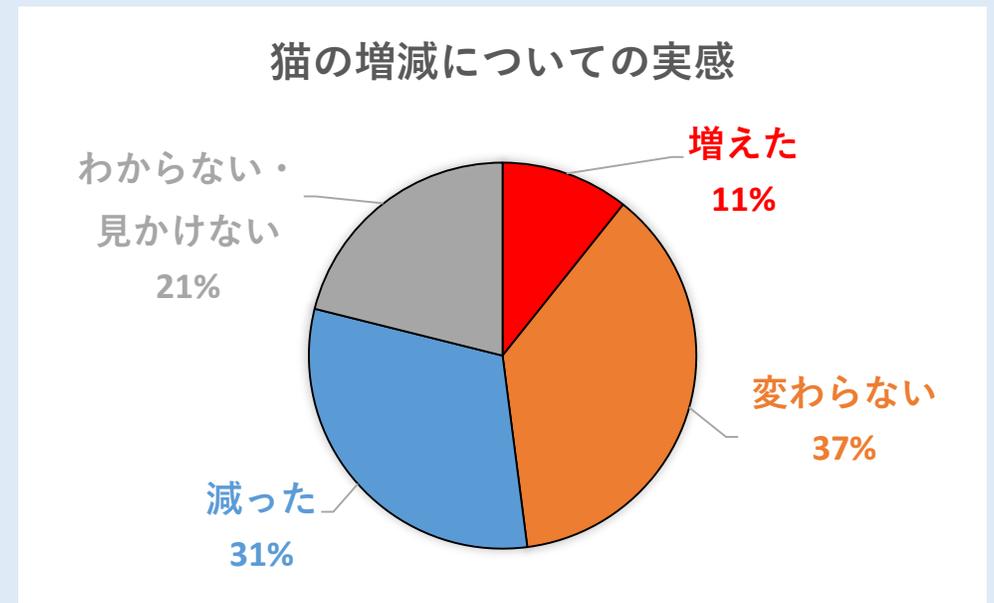
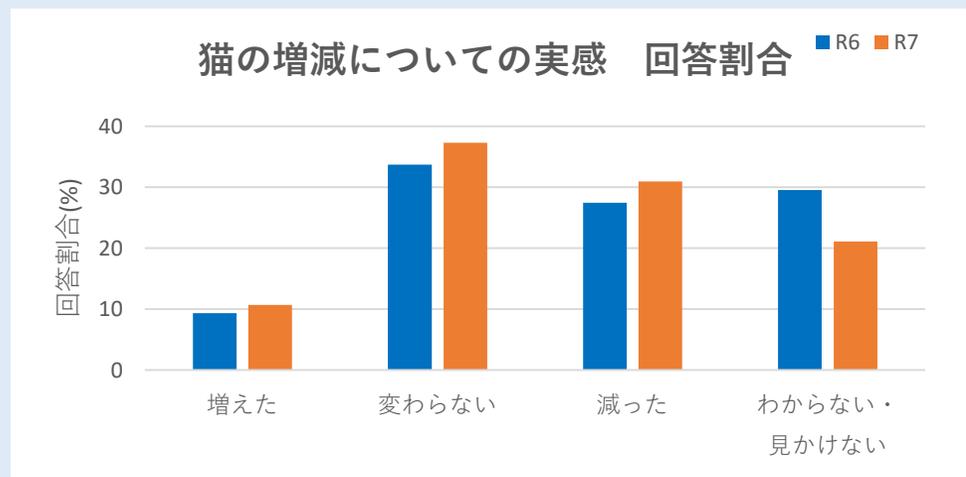


【結果】

Q3 数年前と比べて、Q1で回答した地域の猫の数は変わりましたか？

- ・「変わらない」と感じている人が最も多く、全体の37%で、前回と有意な差はありませんでした。
- ・次いで「減った」と感じている人が多く、全体の31%で、前回と有意な差はありませんでした。
- ・「増えた」と回答している人は全体の11%で、前回と有意な差はありませんでした。
- ・「わからない・見かけない」と回答している人は全体の21%で、前回より有意に減少しました。

R7	増えた	変わらない	減った	わからない・ 見かけない	合計
回答数	76	265	220	150	711
割合(%)	11	37	31	21	100



【結果】

Q4 他にも猫を見かける地域があれば教えてください

- ・約2割の方から他にも見かける地域名の回答がありました。

選択肢	回答数	割合(%)
見かける地域名を回答	177	25
見かけない	534	75
合計	711	100

Q5 Q4で回答した地域で見かける猫の数を教えてください

- ・約半数の方が「1～2匹」と回答していました。
- ・Q4で地域名の回答があった地域における見かける猫の数と、Q2の回答を合計すると、「1～2匹」との回答が約4割、「3～5匹」との回答が約3割で、Q2とほぼ同様の傾向でした。

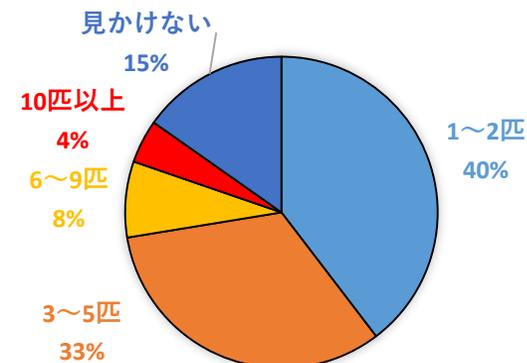
(Q4で地域名の回答があった地域における見かける猫の数)

	1～2匹	3～5匹	6～9匹	10匹以上	合計
回答数	86	66	14	11	177
割合(%)	49	37	8	6	100

(Q2の回答との合計)

	1～2匹	3～5匹	6～9匹	10匹以上	見かけない	合計
回答数	352	291	70	40	135	888
割合(%)	40	33	8	4	15	100

見かける猫の数 (Q2+Q5)



【結果】

Q6 数年前と比べて、Q4で回答した地域の猫の数は変わりましたか？

- ・約4割の人が「変わらない」と回答しており、次いで約2割の人が「減った」「わからない」と回答していました。
- ・Q4で地域名の回答があった地域における見かける猫の数とQ3の回答を合計すると、Q3と同様に、「変わらない」との回答が最も多く、次いで「減った」との回答が多い結果となりました。

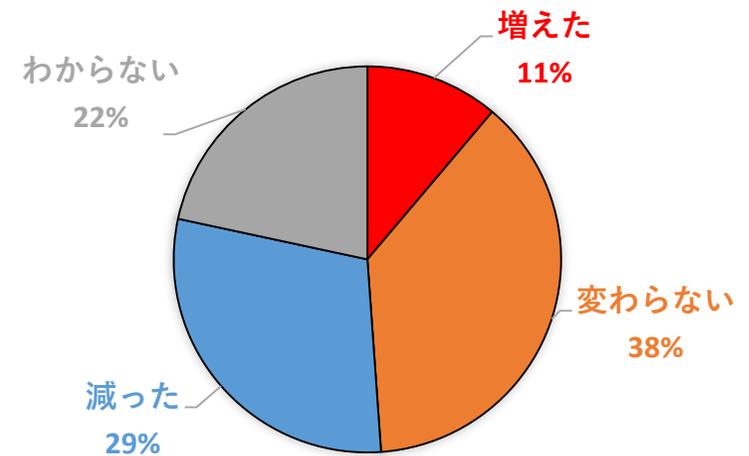
(Q4で地域名の回答があった地域における猫の増減)

	増えた	変わらない	減った	わからない	合計
回答数	23	70	42	42	177
割合(%)	13	40	24	24	100

(Q3の回答との合計)

	増えた	変わらない	減った	わからない	合計
回答数	99	335	262	192	888
割合(%)	11	38	29	22	100

猫の増減についての実感 (Q3+Q6)

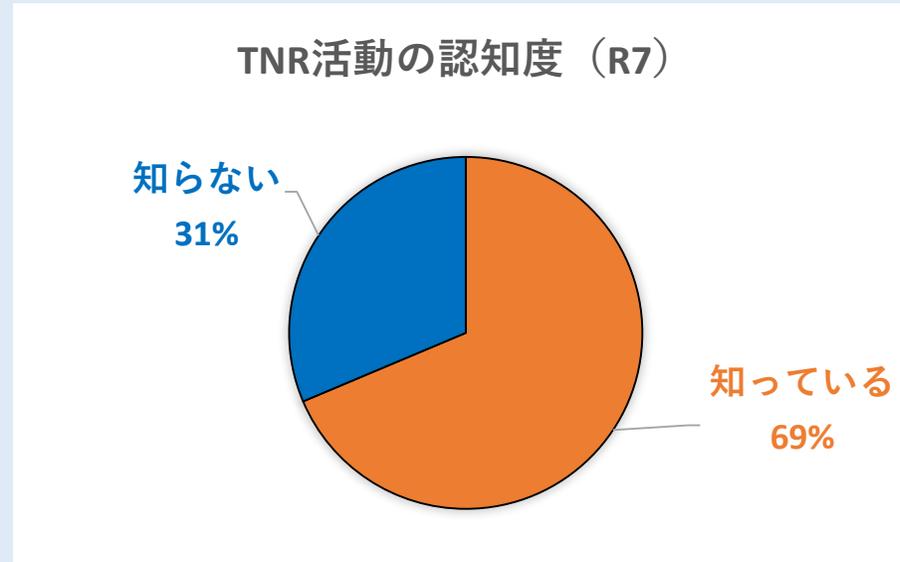


【結果】

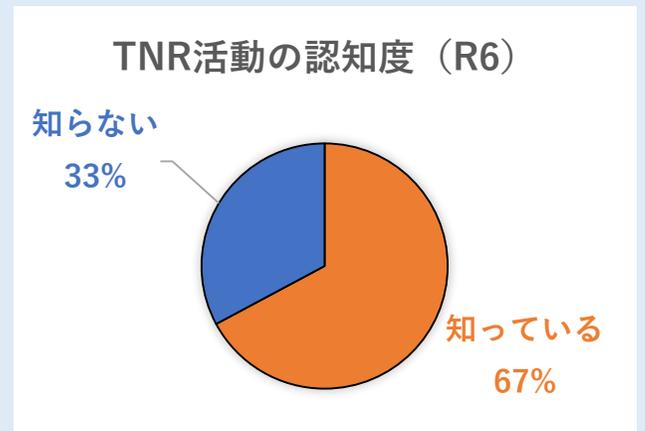
Q7 TNR活動（猫を捕獲し避妊去勢手術をして元居た場所に戻す活動）を知っていますか？

・約7割の方が「知っている」と回答しており、前回とほぼ同率でした。

	回答数	割合(%)
知っている	488	69
知らない	223	31
合計	711	100



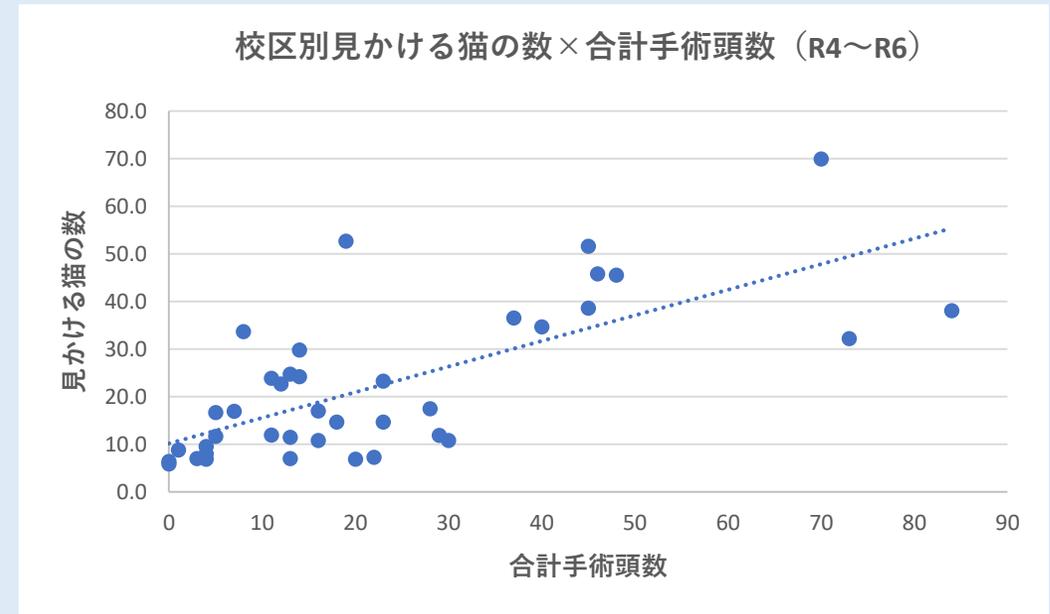
(参考：R6)



【避妊去勢手術との関係】

見かける猫の数と手術頭数

- ・ 見かける猫の数と令和4～6年度の猫避妊去勢手術助成金申込書に記載されていた猫の捕獲場所をそれぞれ小学校区別に集計しました。
- ・ その結果、前回と同様に、見かける猫の数が多い地域ほど、助成金を利用した猫の捕獲及び避妊去勢手術が行われている傾向にあることがわかりました。

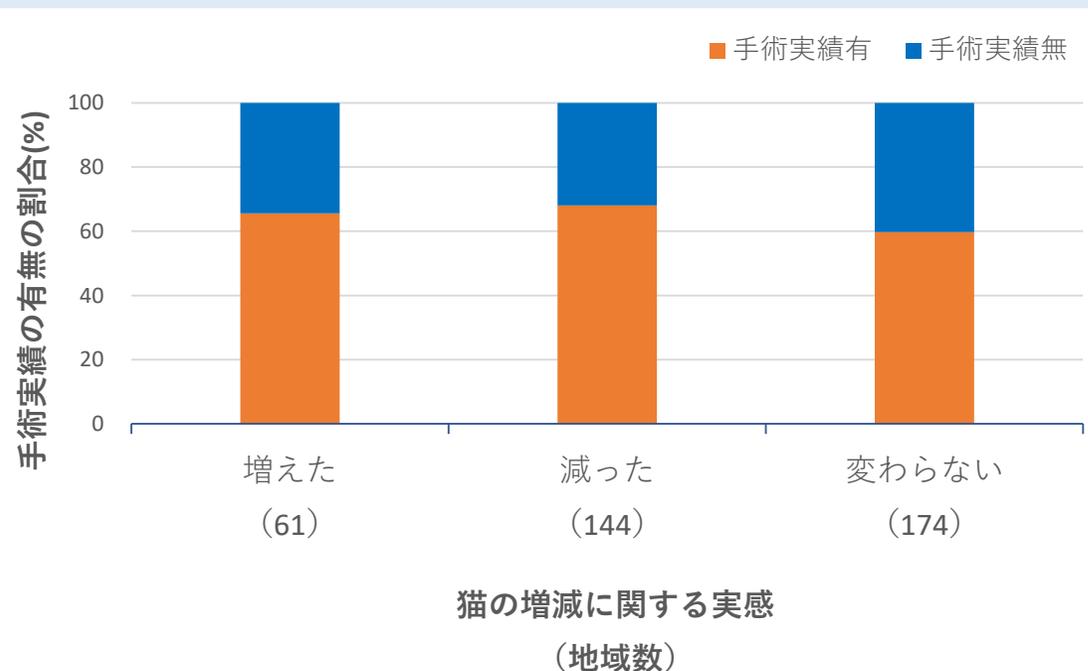


【避妊去勢手術との関係】

猫の増減に関する実感と手術頭数

- ・猫の増減について、「減った」「増えた」「変わらない」と回答のあった地域（町丁別）ごとに、その地域における手術実績の有無を調べ、その割合を比較しました。
- ・その結果、各地域における手術割合に有意な差は認められませんでした。

	地域数			手術割合(%)	
	実感別の地域数	地域数のうち、手術実績有の地域数	地域数のうち、手術実績無の地域数	手術実績有の割合(%)	手術実績無の割合(%)
増えた	61	40	21	66	34
減った	144	98	46	68	32
変わらない	174	104	70	60	40



【考察】

- ・猫の数について、数年前と比べて「増えた」「変わらない」「減った」と感じている方の割合は、前回と比べて有意な差は無く、猫の分布に変化はあるものの、市内の猫の総数は大きく変化していないものと推察されました。
- ・TNR活動については、7割近くの方が「知っている」と回答しており、前回とほぼ同率でした。
- ・直近3年間（令和4～6年度）の猫避妊去勢手術助成金との関係からは、見かける猫の数が多い地域ほど手術が多く実施されている傾向が認められました。これは、市民の皆様のご協力により、手術が必要な地域で着実に助成金を活用した避妊去勢手術が実施されていることを示すものと考えます。また、猫の繁殖力※を考えると、猫の総数に変化が無いこと自体、避妊去勢手術の効果と言えるかもしれません。
- ・一方で、今回の結果からは手術が実施されている地域ほど猫の数が少ないまたは減ったと感じられる傾向は認められませんでした。のら猫の寿命を考えると、避妊去勢手術の実施によって猫の数が変化し始めるには数年以上かかると考えられ、まだ十分な効果が得られていない地域もあると推察されました。この結果の因果関係やデータの取り方等については、今後も考察を続けて参ります。
- ・今回の結果は、前回のアンケート調査に対していただいたご意見も踏まえ、できるだけ様々な視点から考察するよう努めて取りまとめを行いました。結果の解釈には様々な見方が可能と考えますが、助成金の効果を図るためには、調査を継続して行い、動向を見守っていく必要があると考えています。今後も猫に関するアンケート調査を継続して行うとともに、TNR活動の周知啓発に努めて参ります。

※猫の繁殖力：環境省パンフレットによると、1匹のメス猫が3年後には2,000匹以上に繁殖するとされています。
環境省パンフレット「捨てず 増やさず 飼うなら一生」：https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2706f.html

調査へのご協力ありがとうございました。